

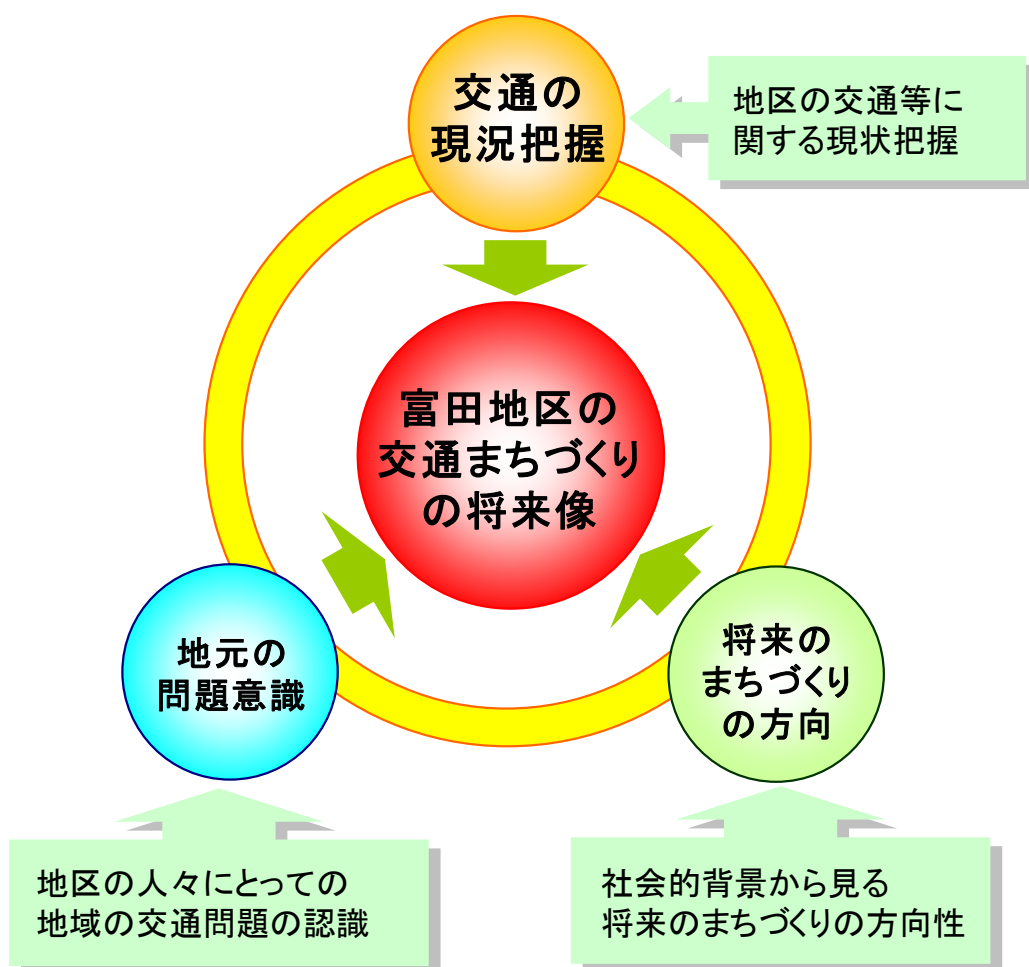
第五章 富田地区交通まちづくり勉強会の取組

1 富田地区交通まちづくり勉強会の目的

富田地区（JR以南）の交通問題に対して、地域の将来像を踏まえつつ、交通とまちづくりの両面から検討を進めるため、平成19年度から地元とともに勉強会を行い、地元の方々が日々感じている地区の課題や地区に対する考えを共有するために開催しました。

2 富田地区交通まちづくりを考える視点について

交通まちづくりの視点は、地区の交通等に関する状況把握を踏まえ、地区の人々にとっての交通問題、社会的背景からみた地区の問題をあわせて、まちづくりの将来像を考えていきます。



3 富田地区交通まちづくり勉強会の参加メンバー

勉強会の参加メンバーは、地元の自治会、商業協同組合、有識者より構成する20名です。なお、平成19年度は神戸国際大学土井勉教授、平成20年度は社団法人システム科学研究所顧問轟明眞一郎氏にアドバイザーとしてご出席をいただきました。

所 属
富田自治会連合
大畑自治会
富田町第15区自治会
富田第八区自治会
富田町第七区自治会
富田町第11区自治会
摂津住宅自治会
富田商業協同組合
けさたんと会
有識者（アドバイザー）

4 富田地区交通まちづくり勉強会の開催経過

年 月 日	議題内容	参加者数	備 考
【平成19年度】			
平成20年1月30日（第1回）	勉強会の枠組みについて	13名	
平成20年2月25日（第2回）	現地視察	11名	
平成20年3月17日（第3回）	交通問題の共通認識	8名	
【平成20年度】			
平成20年11月20日（第1回）	富田地区の現状把握	18名	
平成20年12月18日（第2回）	課題整理	16名	
平成21年1月22日（第3回）	基本構想を考えよう	16名	
平成21年2月19日（第4回）	基本構想をまとめよう	17名	

5 平成19年度富田地区交通まちづくり勉強会の内容

(1) 第一回富田地区交通まちづくり勉強会（意見交換会）

■ 第1回勉強会 ～活発に意見交換会を行いました～

開会挨拶、勉強会の趣旨説明などの後、出席者が2班に分かれてワークショップを行いました。参加者が日常感じている交通に関する問題等について、活発に意見を交換しました。

（参加者：13名）

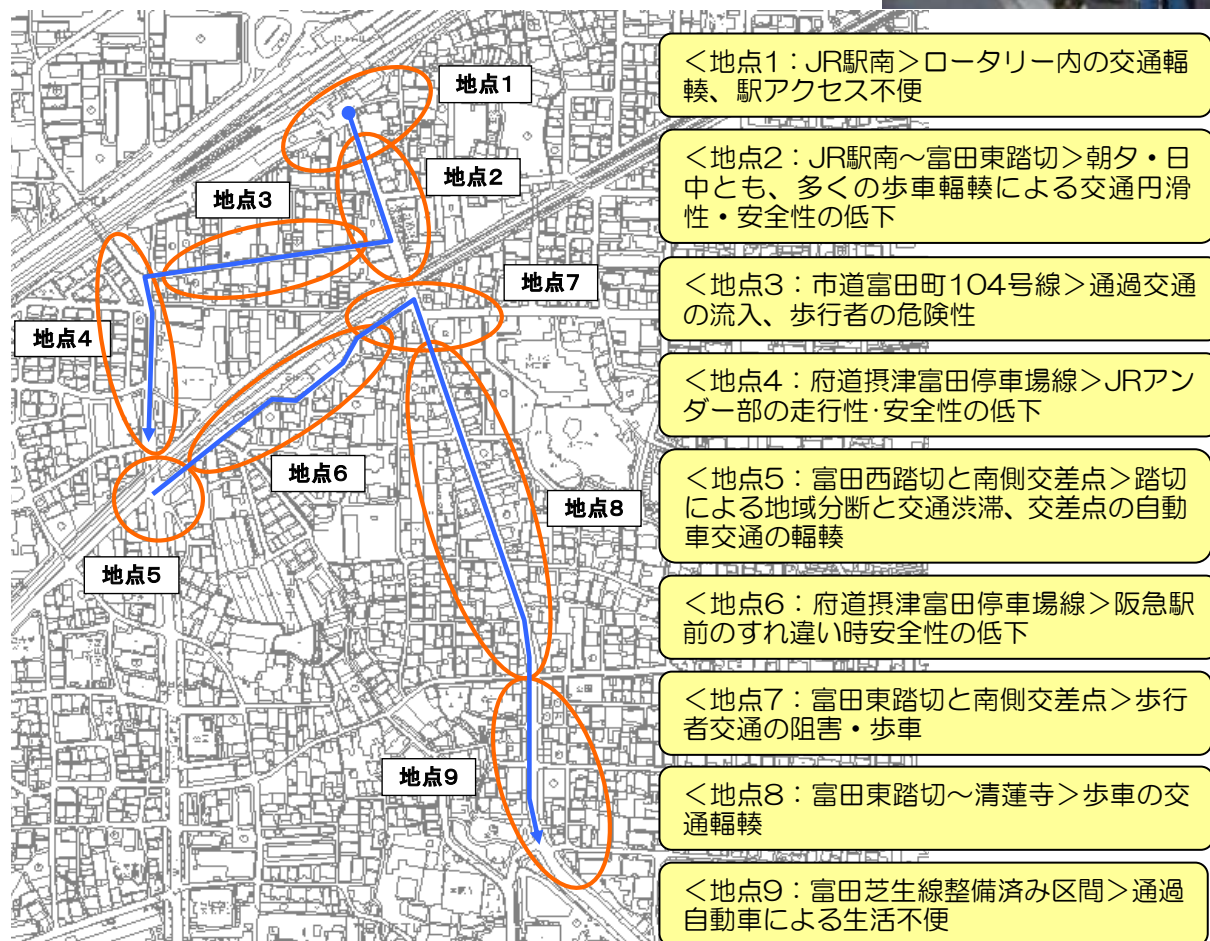


(2) 第二回富田地区交通まちづくり勉強会（現地視察）

■ 第2回勉強会 ～見慣れたまちの交通問題点を現地で再確認～

朝夕の2回に分けて、それぞれ富田地区の現場を歩き、交通とまちづくりの現状をつぶさに観察してきました。富田公民館において、現地調査を基に参加者の意見を発表しました。

（参加者 11名）



(3) 第三回富田地区交通まちづくり勉強会（地域の課題の共通認識化）

■ 第3回勉強会 ～特に重要な交通問題を全員で共通確認～

2班に分かれて、現地調査による問題点を確認しながら、富田地区の交通まちづくりに関する課題について意見交換を行い、各班の代表がそれぞれまとめを発表しました。最後に土井先生の講評を頂きました。

(参加者8名)



富田地区は以下のような交通問題を抱えています。

<JRアンダー部分の安全性>

□道路幅員が狭く、見通しが悪いために、自動車の走行性や歩行者・自動車等の安全性が低下しています。

<東西方向の道路交通の輻輳>

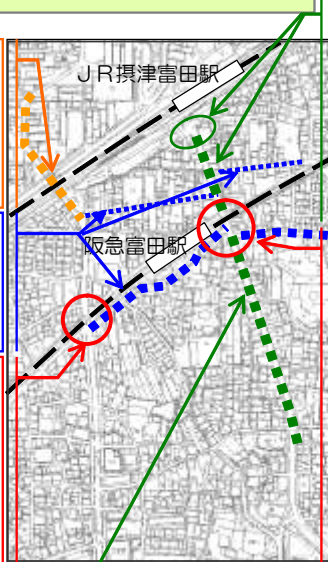
□幅員の狭い道路に自動車が進入し、買い物等の歩行者の安全性が低下しています。

<富田西踏切による交通障害>

□幹線道路の交通が分断され、自動車の渋滞を引き起こしています。
□踏切南側の交差点での南北及び東西方向の交通が交錯し、走行性と安全性が低下しております。
※ピーク時踏切遮断時間：約40分、最大渋滞長：南側に約400m

<駅への交通が不便>

□駅前までの道路幅員や駅前空間が不十分で、バスが駅に直結しておらず、遠方から来られる方等の利便性が低下しています。



<阪急～JR間の交通の輻輳>

□朝夕ピーク時に通勤・送迎が多く歩行者・自転車・自動車で交通混雑しています。
□昼間、買い物客等の駐輪により歩行者が車道へのはみ出し、歩行の安全性を妨げています。

<富田東踏切による交通障害>

□JR駅への交通が分断され、歩行者の利便性が低下しています。
□踏切前後で歩行者・自転車・自動車が滞留・混雑し安全性が低下しています。
□踏切南側の交差点が変則で南北及び東西交通が交錯し、安全性が低下しています。
※ピーク時踏切遮断時間：40分弱、12時間の歩行者交通量：約11,000人



富田西踏切の車の交通混雑



富田東踏切の混雑状況



東西方向の細街路への車侵入



JR～阪急間の歩行者・自転車の輻輳



路上駐車による歩行者のはみ出し

富田地区交通まちづくりの課題

1、交通問題の改善

歩行者の安全性や駅前、踏み切り付近の交通の改善、東西方向の円滑な交通処理など

2、個性を活かしたまちづくり

歴史や酒・水・神社仏閣の活用や景観に配慮したまちづくりなど

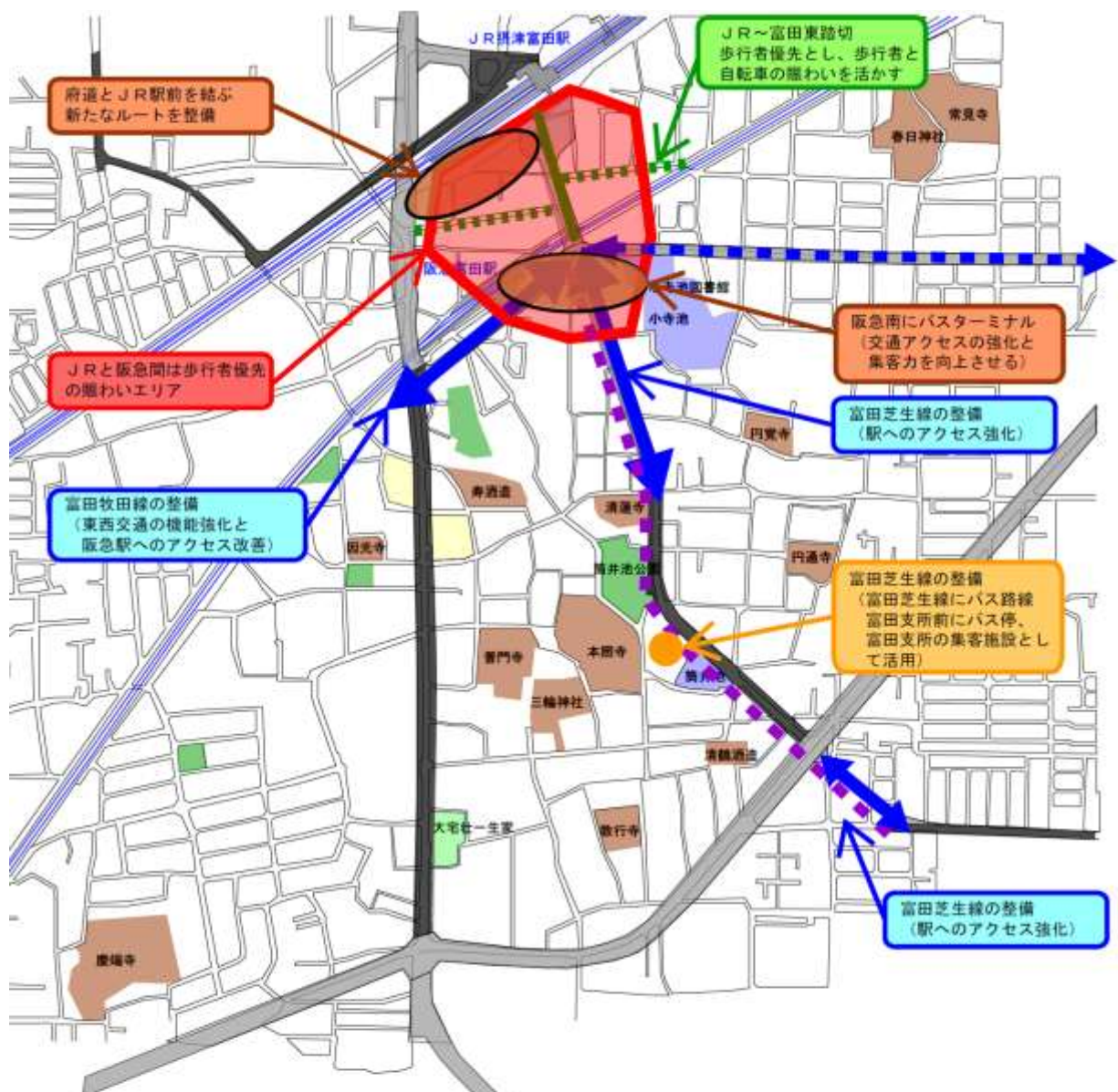
3、賑わいの創出

商業施設等の魅力向上や充実、来街者や居住人口の増加など

(4) 平成19年度富田地区交通まちづくり勉強会のまとめ

平成19年度富田地区交通まちづくり勉強会では、意見交換や現地視察を行い、今後重点的に考慮する必要がある交通まちづくりの課題を「交通問題の改善」「賑わいの創出」「個性を活かしたまちづくり」の3つにとりまとめました。

「交通問題の改善」では、富田芝生線、富田牧田線の整備やバスターミナル、バス路線の整備などの必要性が認識され、「賑わいの創出」では、下図の赤枠で囲んであるJRと阪急間のエリアについて“賑わいエリア”として歩行者優先のエリア形成をしていくことが必要であることが認識されました。また、「個性を活かしたまちづくり」では歴史や酒・水・神社仏閣等を活用した景観に配慮したまちづくりの必要性が認識され、次年度以降に具体的な整備の方向性について検討することとなりました。



平成19年度 富田地区交通まちづくり勉強会のまとめ

6 平成20年度交通まちづくり勉強会の内容

(1) 第一回富田地区交通まちづくり勉強会（意見交換会）

■ 第一回勉強会 ～平成19年度のおさらいと平成20年度の勉強会内容～

参加者の自己紹介、アドバイザー 轟明先生の紹介の後、富田の現状、平成19年度の交通まちづくり勉強会のおさらいと、今年度の勉強会の趣旨説明を行いました。

その後、皆さんと、普段感じていることに関して意見交換を行いました。（参加者：18名）



(2) 第二回富田地区交通まちづくり勉強会（意見交換会）

■ 第二回勉強会 ～富田地区の良いところ、気になるところ～

第二回富田地区交通まちづくり勉強会では、2班にわかれ“富田地区の良いところ、気になるところ”について議論していただきました。（参加者：16名）



1) 良いところ

- 阪急とJRの駅が近く便利。
- 支所や病院が揃っており、静かな住宅地となっている。
- 駅を離れると酒造り、地ビールなどの酒造り場、神社仏閣が沢山あるなど歴史的な町並みが残っている。

2) 気になるところ

- 朝夕の通行が安全でない、ベビーカーで通行できないなど、JRガード下の問題がある。
- 高齢化が進行していくなかで高齢者が安心して安全に歩けない状況がある。
- 若者、子どもが少なくなっている一方で、ワンルームマンションが増え、地域のつながりがなくなっている。
- 歴史文化がありながら、道しるべのような看板が少ない。（一部整備されているところはある）
- 不法駐輪が多い。

3) 改善に向けての提案

- JRと阪急の間について、車を通行止めにして、歩行者天国として活用する。
- 筒井池公園、小寺池を親水公園として整備する。
- 車道と歩道と植樹帯を考え、道路の整備を推進する。
- 一方通行化や大型車両の通行禁止対策などによって駅前の歩行者の安全性を確保する。
- 南北交通の強化として茨木市からの南北道路を整備する。
- 富田芝生線は駅側に加え、もう少し南側の整備の早期実現化を図る。また、小型バスの運行を実施する。
- 街並みの景観に配慮した道づくり、神社仏閣間を散歩できるような道づくり、まちづくりを進める。

■ 第二回勉強会 ～ワークショップのまとめ～

A 班

空き地・空き家の増大

交通条件の良さ

- 富田地域は大阪・京都の中間点という交通の要所にある。
- JRと阪急の駅が最も接近しており、交通の便にめぐまれている。
- 摂津住宅自治会は阪急富田駅の南側に位置し、駅から至近距離にある。
- JR・阪急が近いため便利である。

閑静な住宅地

- 富田3丁目はJR、阪急駅が近くで静かな住宅地である。
- 摂津住宅自治会の地域は閑静で比較の日当たりも良く住環境に恵まれている。
- 低層住宅地で圧迫感がなく、住み良いまち。
- 各家の生垣、庭の手入れも良く住み良いまち。

ワンルームマンションの懸念

- ワンルームマンションの住人は自治会に入らず問題。
- 管理人不在のワンルームマンションは少ない。
- 駐車場、空き屋があり、土地利用が心配。
- ワンルームマンション住人の転出時に家電製品を捨てていく。
- ワンルームマンションの前には不法駐輪、バイクが多い。
- まちづくりに重大な悪影響を及ぼしている。

子ども達に安全なまち

- 子ども達への愛情をもった目が届いている。府警のアンマチメールで子どもの不安がない。

日常的な公共施設

- 富田町3丁目には公的機関（支所・図書館・保健センター等）が近くにあり便利。
- 富田のまちの中心部に大きな公園があり、憩いの場となっている。

商店街の活力の低下

- 文具店がない。
- 商店街として全ての生活用品がそろわなくなってきている。
- 商店の跡継ぎがいらない。
- 商店街の間に一般住宅があり、商店街っぽくない。

JR北と比べた活力の停滞

歴史文化のまち

- 普門寺の石庭（連雲石）がすばらしい。
- 普門寺には遠山麦浪、石井露月の句碑も立つ。
- 神社・寺が多い。
- 歴史のある古い町並みが良い。

地域資源の未活用

- 歴史的な場所の説明板が少ない。
- 公園が十分に活かされていない。

駐車・駐輪のコントロール不足

- JR・阪急間の商店街の店の前に置き自転車が多く、通行の邪魔になる。
- 駅の周りの駐輪が悪い
- 歩行者道路専用であり、その間に自転車預かり所があるが、単車が走りあふない。

まちの美化・治安

- 野良猫が多い。
- 街の明るさが足りない。

- ★普門寺の石庭をもっと気軽に拝観できるようにすればどうか。
- ★小寺池図書館の南側の池の周りをもっと整備し、アクセスも良くして観光資源として活用。
- ★散歩できる道の充実が必要。

安全に歩くことができない

- 駅前通り（南北の通り）が車道と歩道の区別がなく、危険である。
- コノミヤへ横断する人が多く、車の行き来も多いので危険。
- 阪急南側道路は狭く、くねくねして歩いて歩道も一部しかなく、安全に歩くことができない。
- 主要道路に歩道が整備されていない。
- 歩道の良い場所と悪い場所の差が大きすぎる。
- 阪急富田西踏切の交通渋滞が年々深刻となっている。
- 阪急富田西踏切から阪急富田へ向かう道路の交通量が多い上に一方通行でないので歩行者、とりわけ高齢者にとって大変危険である。

- ★歩道の設置、一方通行、大型車両の通行禁止等対策が必要。

土地利用

- 摂津住宅自治会の北側に近隣商業地域が設定されており、規制がゆるい。

規制が必要か？

若者の減少

- 富田地区から若者がどんどん減ってきている。地域力が衰えてきている。
- 富田地区は少子高齢化が進んでいるが、摂津住宅は富田地区の中でも更に進んでいる地区。

★高齢化と若者が減るといふ現象にどのように具体的に 대응するか

- 良いところ
- 気になるところ
- 提案事項

B 班

便利なまち

- JR・阪急の駅が京都線で最も近く便利な地域である。

- ★JR～阪急を歩行者天国に。
- ★今まで進めようとしてきた計画と現状のアンマッチをどのように対応すべきか。
- ★開発されなかったところを活用。

便利なゆえに渋滞・危険

- 踏切とガードを渡るのが大変で、特に阪急の踏切を渡るのに時間を要する。
- JRガードは狭く、人と車が混在。
- 人、車、自転車が混在で危険。
- 特に駅前、商店街付近は人、自転車、自動車が混在しており危険。

道路の問題

- 狭い道路。左、右、人が混雑している。

車を通すだけの道路ではダメ

- ★富田芝生線の早期拡幅整備。
- ★富田芝生線の小型バスの通行。

みんなの合意が大切

歴史・文化・自然豊か

- 富田にこれほど多くの社寺がある理由は、歴史的、文化的な地域であったから。
- 史跡、名所が多い。

ネットワークの問題

- 遊歩道が少ない。

- ★歴史・文化・お寺を保全・継承。
- ★酒蔵、お寺をまちづくりの核に。

高齢者の居場

- 高齢者がゆっくり憩える場所が少ない。

公園

- ★筒井池を親水公園に。
- ★小寺池を親水公園に。

公的機関

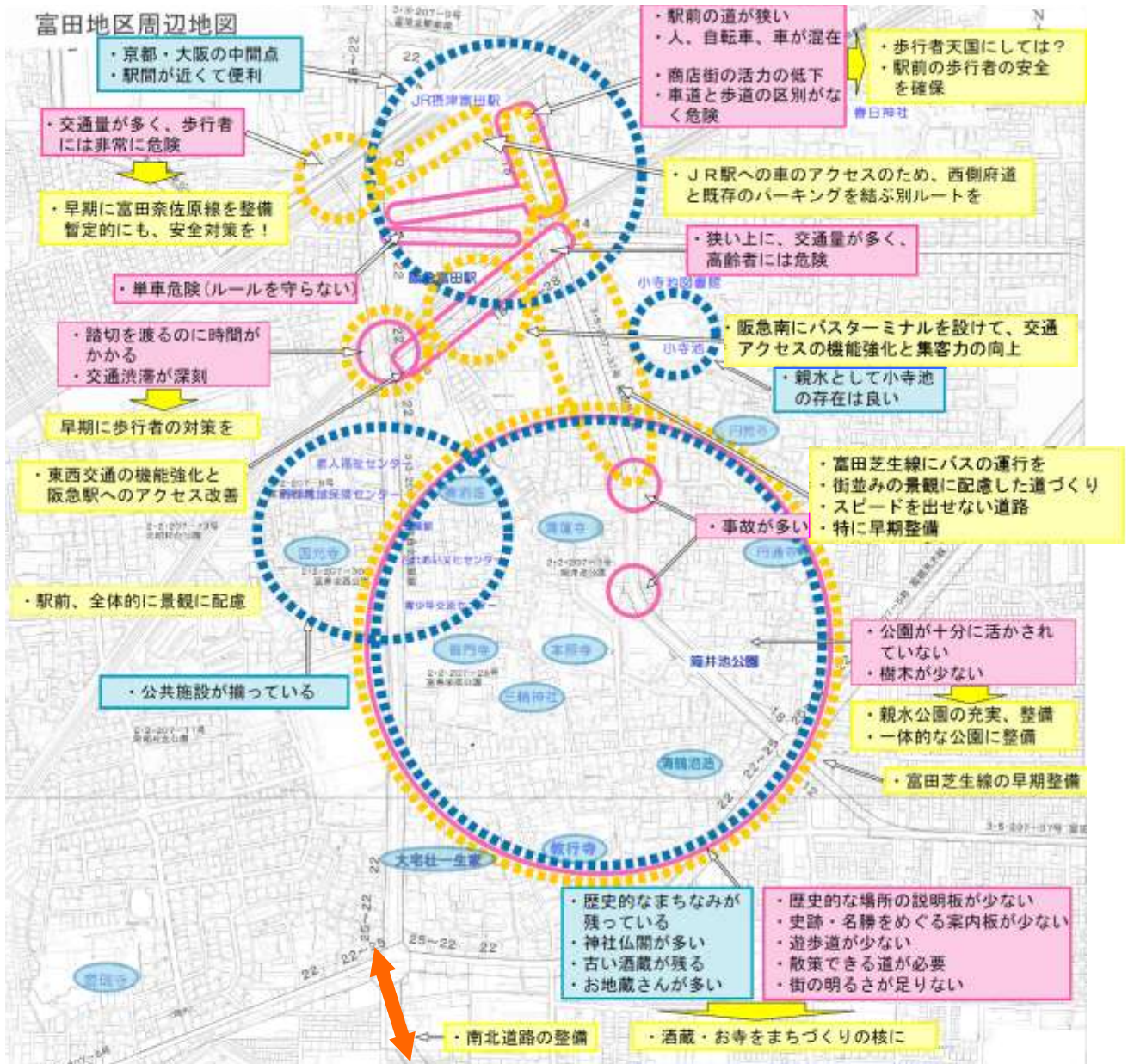
- 支所、図書館、保健センター等が近くて便利。

歩行者ネットワーク。

景観

- 風景にそぐわない建物、空地の問題
- 新しく建物（駐車場・マンション等）が周りの風景にそぐわないが、それが認められている。

■ 富田地区交通まちづくり勉強会 ～ 課題整理図 ～



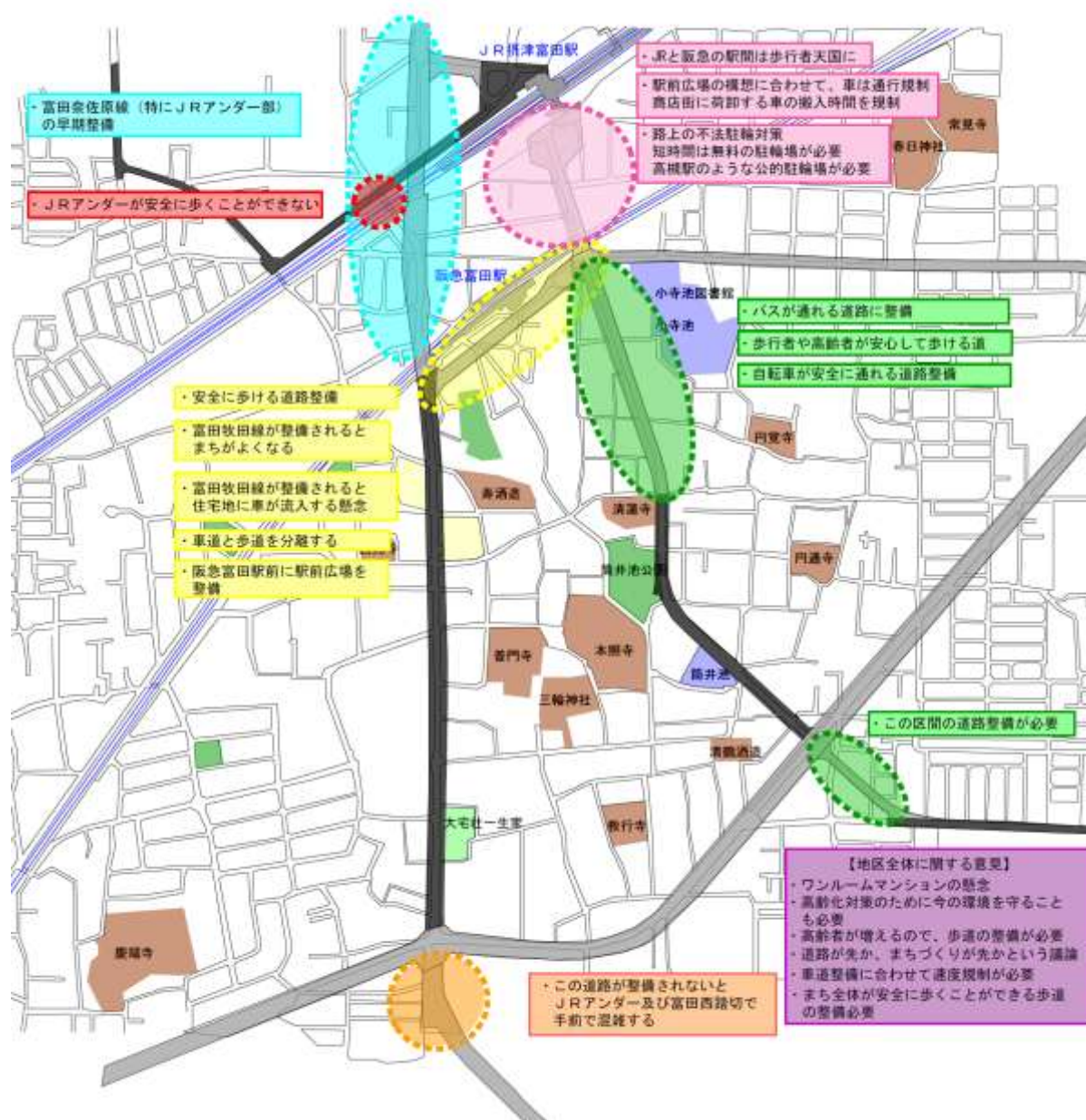
	： 良いところ
	： きになるところ
	： 提案事項

(3) 第三回富田地区交通まちづくり勉強会（意見交換会）

■ 第三回勉強会 ～基本構想を考えよう～

第三回富田地区交通まちづくり勉強会では、“富田地区の良いところ、気になるところ”を踏まえ、今後の富田地区のまちづくりをどのようにしていくべきかについて議論していただきました。

その結果、JRと阪急の駅の間、富田奈佐原線、富田牧田線、富田芝生線及び地区全体のそれぞれについての整備の方向性や富田地区全体のまちづくりの方向性について、以下のような意見が出ました。（参加者16名）



(4) 第四回富田地区交通まちづくり勉強会（意見交換会）

■ 第四回勉強会 ～基本構想をまとめよう～

第四回富田地区交通まちづくり勉強会での“基本構想をまとめよう”で出た意見については以下のとおりです。

総意となったのは、富田奈佐原線の早期整備、特にJRのガード下の整備については富田奈佐原線が整備されるまでの間の歩行者の安全対策、JR南側の駅前広場（つどいの広場）の整備、JR摂津富田駅と阪急富田駅間の歩行者を優先とした整備です。

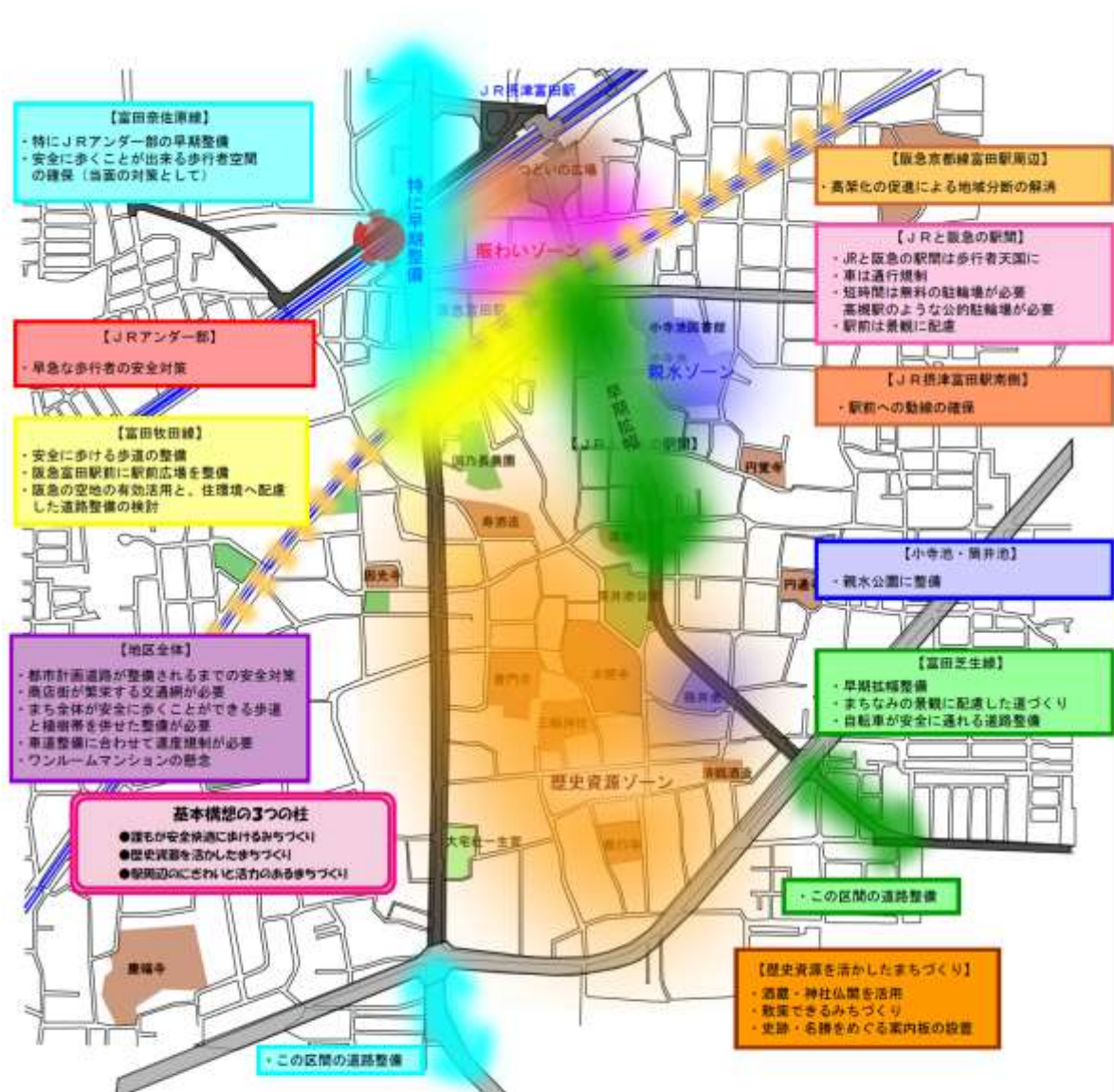
また、阪急の南側の富田牧田線については、阪急用地の活用も踏まえた検討を行うこととされました。（参加者17名）



(5) 平成20年度富田地区交通まちづくり勉強会のまとめ

平成20年度富田地区交通まちづくり勉強会では、昨年度に出された意見の中で、特に考慮する必要があると共通認識された課題である「交通問題の改善」「賑わいの創出」「個性を活かしたまちづくり」を具体的にどのように整備すれば良いかなどについて議論を行いました。その結果、以下の4点においては、対応可能な部分から整備を進めていくべきであるとされました。

- 富田奈佐原線の早期整備と、JRアンダー部分における早急な歩行者の安全対策
- 誰もが安全安心に歩ける富田芝生線の歩道整備
- JRと阪急の駅間については、歩行者の優先や不法駐輪対策の実施
- 歴史資源を活かした散策できるみちづくりと史跡・名勝の案内板の設置



平成20年度 富田地区交通まちづくり勉強会のまとめ